

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんにちは、らくだです。

今日は台風一過で気持ちのいい青空が広がっています。
天気がいいと気持ちまで自然に晴れ渡るから不思議ですよ。

さてさて。
9月分のブログをパブーにアップしました。

迷走を続けるらくだ図書館ですが 78 冊目もよろしくお願いします。

【らくだ図書館 (78)】

<http://p.booklog.jp/book/124033>

あと個人的な話ですが、先週受けた例の面接（「触手が動く」のやつ）、無事に採用されました。

やったね！
これで FGO に重課金（）できちゃうね！

ちなみに今回の仕事は私服なので、先日買ったパンプスは無駄になりましたが、まあ私生活でオシャレするキッカケができたと思えば……うん……。

というわけで、色々悲しい出来事もありましたが、皆様の応援もあって現在はだいぶ前向きになれました。

今年も残り 3 か月。

過去はもう変えられませんが、今日どうするかは自分で選べることなので、後悔を教訓にして悔いのない毎日を送りたいと願っています。

こんにちは、らくだです。

第1回ビーズログ小説大賞の最終発表がありました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://bslogbunko.com/bslog_award/index.html

- ・ 応募総数 522 本
- ・ 1次通過 64 本 (約 12%)
- ・ 2次通過 17 本 (約 3%)
- ・ 最終候補 6 本 (約 1%)
- ・ 受賞 3 本 (約 0.5%)

そしてそして。

第2回の応募要項が早くも発表されました。

パッと見た感じ大きな変更はない模様。

締切は4月30日でカクヨム応募も引き続きOK。

募集部門はファンタジー部門と現代部門の2つです。

【応募要項】

http://bslogbunko.com/bslog_award2/

まだ小説執筆を再開できない自分ですが、復帰するなら女性向けを考えているので、ビーズログの情報は引き続きチェックしていこうと思います。

以上、ビーズログ最終発表&次回の応募要項の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞の新部門として開催された「2018e ロマンスロイヤル大賞」の最終結果が公式サイトで発表されました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://www.enterbrain.co.jp/entertainment/eromanceroyal_entry.html

- ・ 応募総数 117 本
- ・ 1次通過 17 本（約 15 %）
- ・ 2次通過 10 本（約 9 %）
- ・ 受賞作品 3 本（約 3 %）

受賞の内訳は大賞 1 本と金賞 2 本です。

新規の部門ですが大賞が出たのはめでたいですね。

なおこの賞は女性向け R18 小説の賞ですが、官能度が控えめな作品に贈る賞として、ピーチ賞というものが設定されていました。

そのピーチ賞は残念ながら該当なしという結果に。

まあ官能度が控えめなら普通の賞に送りますからね……。

コンセプトが中途半端だったような気はしますよね……。

なにはともあれ、2018 と銘打ったからには来年もあるのだろうし、これからのレーベルの発展に期待したいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催されていた「電撃《新文芸》スタートアップコンテスト」の中間発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/dengekibunko_contest/nominated

- ・ 応募総数 2,429 本
- ・ 中間通過 138 本（約 6 %）

なお自分もひっそり参加しました。

結果は言うまでもなく落選でした。

まあ数年前から放置している作品じゃ無理ですよ！

内容が面白ければそれもありですが面白くないですからね！

といういつも通りの自虐はさておき、電撃の新レーベルの看板作品を募るコンテストだけあって、応募総数も 2,500 本近く集まりました。

通過作品のタイトルを見た感じ、やはり異世界ファンタジーが多いのかなという印象ですが、あの電撃のことですから他とは一味違った作品を送り出してくれるだろうと期待しています。

気になる最終発表は 10 月末予定だとか。

サイトが更新されたらまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

どうせ 10 日だろうと油断しており、記事の更新がすっかり遅れましたが、電撃の最終発表がありました。

なるほど、これが本当の電撃発表か……（違）

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_25_02.html

- ・ 応募総数 4,843 本
- ・ 1 次通過 510 本（約 11 %）
- ・ 2 次通過 213 本（約 4 %）
- ・ 3 次通過 93 本（約 2 %）
- ・ 4 次通過 10 本（約 0.2 %）
- ・ 受賞 9 本（約 0.2 %）

そして読者賞の詳細発表がありました。

詳しくは以下のリンクをご確認ください。

【読者賞】

https://kakuyomu.jp/special/entry/dengeki_dokushasho

候補となっているのは 3 次通過の 4 作品でした。

選考上は 4 次で落選した作品ということになりますが、ここから読者賞に選ばれたら書籍化確約なので、投稿者としてはどの作者さんも応援したい気分です。

以上、電撃の最終発表&読者賞の話題でした。

こんにちは、らくだです。

コバルトブログの更新ないなと思ったら、そうでした、あのブログは先週の更新で終わりでした。

情報収集は他でもできますが、今まで当たり前に読んでいたものがなくなるのは、やはり少々寂しいものです。

それはさておき。

第 196 回コバルト短編小説新人賞の発表がありました。

以下リンク。

入選者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no196/>

今回の選評は全体的に高評価で、

「この作者の、違うテイストの話もぜひ読んでみたいですね。期待して待っています」

「思いの丈が詰まった作品を、ぜひまた送ってきていただきたいですね」

等々のコメントがありました。

作者にとってこれはとても嬉しい言葉じゃないでしょうか。

現状の自分は「1 次や 2 次で落ちるその他大勢の投稿者」ですが、こんな風に編集さんに個として認識してもらえたら、やっぱりすごくモチベーションが上がるだろうなと思います。

以上、第 196 回コバルト短編の発表の話題でした。

皆様こんにちは。

今日は大阪駅前第3ビルにある『シュリアルナ』でインドカレーを食べました。

<カレーチョイスランチ (800 円) >

サラダ、チキンティッカ、ナン、ライス、ソフトドリンク、カレー



カレーは 10 種類の中から選択可能。

今回は羊肉のマトンカレーを注文しました。

感想は……え、美味しいじゃないですかコレ本当に 800 円ですか！？

具体的には、

- ・(たぶん) よく煮込んである
- ・そのため口の中でホロッと崩れる
- ・羊肉特有のくさみがスパイスで上手く隠れている

というわけで「かたい」「噛み切れない」「くさみが気になる」というマトンの弱点を高レベルで克服した逸品だと感じました。

そして、もう 1 つのポイントは真ん中のライス。

カレーを堰き止める堤防になっていますが、ターメリックの風味 (主張はやや控えめ) がカレーと相性抜群で、あっという間にすべて完食してしまいました。

なによりもう 1 度言いますが、これで 800 円という価格は良心的ですし、今後も定期的にかよって他の種類のカレーも食べてみたいと思います。

【シュリアルナ (食べログ)】

<https://tabelog.com/osaka/A2701/A270101/27004766/>

こんにちは、らくだです。

たまたまツイッターで流れてきた記事が気になったので今回はその件を。
二次創作に関する話題ですが投稿者に当てはまる側面もあるように感じました。

【神がジャンル移動した話】

<https://anond.hatelabo.jp/20180327003348>

長い話ですが、

- ・好きな同人作家さんが別ジャンルに移ってしまった
- ・理由は移動先ジャンルの方が応援の声がたくさん来るから
- ・作家さんも人間だから反応があった方がモチベが上がるのは自然なこと
- ・黙って感謝しても本人には届かないから応援の声はしっかりと出していこう

だいたいこんな感じの内容です。

細かいニュアンスは本文を読んでいただければ。

自分は二次界隈には疎いですが、でもなんか、この話はよくわかるなあ……と。

小説投稿をしていると、無言で落とされるのが当たり前ですが、だからこそ褒められた時は天にも昇るくらい嬉しいじゃないですか。

別に賞賛されたくて小説書いてるわけじゃないんですが。

でもやっぱり褒められたらやる気が上がるのは事実というか。

逆に言うと、自分の書いた作品に何の反応も得られなければ、モチベーションを維持するのはとても難しいと思います。

(そんな中で頑張っている投稿者は凄いんだと自画自賛)

まあとにかく、自分も好きな作家さんには感謝の言葉をしっかり伝えて、活動が長く続くよう積極的に応援していきたいと思いました。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうで開催された「第1回 MBS ラジオドラマ短編小説賞」の放送日が決定した模様です。

詳細はなろうブログをご覧ください。

【小説家になろうブログ】

<https://blog.syosetu.com/?itemid=3760>

- ・番組名 小説家になろう Presents ラジオドラマやってまーす！第一弾
- ・出演者 松本梨香さん・矢尾一樹さん
- ・放送媒体 MBS ラジオ AM1179kHz / FM90.6MHz
- ・放送日時 2018年10月12日（金）20時～21時
- ・放送エリア 近畿圏（一部地域を除く）

当日放送を聴けない場合、

- ・radikoのタイムフリー機能により放送後1週間は聴取可能
- ・radikoのエリアフリー機能（有料機能）により全国で聴取可能

ということなので皆様チェックしてみてもいいのではないでしょうか。

ちなみに後日ウェブ上でアーカイブが公開される予定だそうです。

それにしても、最近カクヨムやコバルトでも朗読の企画がありましたが、受賞作を声で聴くと印象がガラリと変わって面白いですよね。

特にこの賞は第4回まで開催が決定していますし、出演声優さんも回ごとに変わるようなので、今後どの方が登場するのか期待したいと思います。

以上、MBS ラジオドラマ短編小説賞の放送日決定の話題でした。

こんにちは、らくだです。

第 11 回 GA 文庫大賞（前期）の発表がありました。

10 日遅れの話題で申しわけないですが一応リンクを貼っておきます。

【発表ページ】

<https://ga.sbcr.jp/novel/taisyo/11/index.html>

- ・ 応募総数 593 本
- ・ 1 次通過 187 本（約 32 %）
- ・ 2 次通過 32 本（約 5 %）
- ・ 3 次通過 8 本（約 1 %）
- ・ 奨励賞 4 本（約 0.6 %）

最終選考に残った作品は 8 本で、その中から 4 本が奨励賞に選ばれたわけですが、選考の決め手になったのはキャラクターの魅力だったそうです。

総評の言葉を借りると、

「登場人物たちが生き生きと動いており物語を引っ張っていく力を備えている」

これは確かに重要ですよ。

なかなか狙って書けるものではないですが自分も気を付けたいと思っています。

なお上の言葉を真逆にすると、

「登場人物が単なるコマになっており作者の都合で動いているように見える」

うん……。

選評で何度も何度も言われた言葉だ……。

というわけで道は険しいですが、キャラの魅力はラノベはもちろん一般小説でも大事なので、精進していきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

チェックが大幅に遅れましたが、第 15 回 MF 文庫 J ライトノベル新人賞（6 月締切分）の 1 次結果が、公式サイトで発表されました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://bc.mediafactory.jp/bunkoj/award/result/#first>

- ・ 応募総数 455 本
- ・ 1 次通過 136 本
- ・ 通過率 約 30 %

MFJ といえば前回は 83 歳の投稿者さんが 1 次通過していました。

あの御仁は！？

今回はいらっしゃるのか！？

というわけで必死に探しましたが、それらしい投稿者の姿は発見できず。

まあそうですよね……。

前回は記念投稿だった可能性もありますからね……。

しかし仮にそうだったとしても、83 歳の投稿者さんがパソコンで原稿を作成し、しかもあの MFJ で 1 次通過したという事実は、自分にとって非常に大きな励みになりました。

いつかまた通過リストで出会えますように……！

こんにちは、らくだです。

コバルトの連載企画「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

今回のお題は、

『「3つの発想法」を駆使して、作品にふさわしいタイトルを考えよう！』

詳しくはリンク先をご確認ください。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/002601/>

< 1. まんまやんけ発想法 >

メリット：タイトルから内容を想像しやすい

デメリット：ネタバレに注意

< 2. 象徴発想法 >

メリット：内容を読むとタイトルの意味がわかって納得できる

デメリット：わかりにくすぎて読者にストレスを与えないよう注意

< 3. 逆説発想法 >

メリット：あえて真逆のタイトルでテーマを浮き彫りにする

デメリット：作者の狙いが必ずしも読者に伝わるとは限らない

以上は自分の個人的なまとめなので、詳細については本文をご覧ください。

あとタイトルの件と関係ないですが、冒頭の前置きで登場した三浦先生の母に共感を覚え、3度くらい読み返してしまいました。

そうだよな！

乙女心に年齢は関係ないよな！

というわけで、三浦先生の母に負けぬよう、自分も頑張ろう(?)と思いました。

「箱の中には…？小説賞」結果発表- 2018.10.13 Sat

こんにちは、らくだです。

先日イオンに行ったら早くもクリスマスグッズが並んでいました。
カラフルなクリスマスツリー、ラッピング用品、サンタやトナカイの人形等々。

強引な季節の先取りに商魂を感じましたが、ショーウィンドウに並んだ色鮮やかなプレゼント箱を見ると、
気持ちがウキウキしてくるから不思議です。

さてさて。

箱といえばコバルトの企画「箱の中には…？小説賞」の結果発表がありました。

以下リンク。

受賞された皆様はおめでとうございます。

【箱の中には…？小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/in-the-box_novel_result/

今回選ばれたのは大賞 1 本、佳作 2 本、もう一步の作品 2 本です。
リンク先で本文と選評が読めるのでご興味のある方は是非チェックを。

それにしても、思えばこのコンテスト、応募締切が 2018 年 2 月 28 日でした。

それから約 8 か月ほど音沙汰がなく、後から開催されたコンテストに発表を追い抜かれ、ブログでもツイッターでも詳細について一切触れられないという……。

そんなわけで心配でしたが無事に発表されてよかったです。
せっかくのコンテストが企画倒れになったら悲しいですもんね。

以上、「箱の中には…？小説賞」結果発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

以前このブログで、小説投稿者の必須装備、ブルーライトカットメガネについて紹介しました。
([当時の記事](#))

今検索したら 2013 年だったことに衝撃を受けました……。
当時から読んでくださっている方は本当にありがとう……。

それはさておき、伝票入力のバイトを始めるにあたって、古くなってしまった PC メガネを買い足そうと思いました。

色々検索したところ、JINS の同モデルはもう売っていなかったのので、エレコムを購入。

【メーカー HP】

<http://www2.elecom.co.jp/products/OG-YBLP01GY.html>



約 2,000 円というお手頃価格のせいか、素材のプラスチックには安っぽさを感じますが、肝心のブルーライトカット機能についてはまったく問題ないように感じました。

ちなみにカット率は約 65 %。
もっと高い物もありますが、2,000 円でこの働きはコスパ抜群だと思います。

というわけで。
執筆で目が疲れる方は是非お試しになってはいかがでしょうか。

以上、ブルーライトカットメガネをダイマする記事でした。

こんにちは、らくだです。

先日最終発表があった第1回ビーズログ小説大賞ですが、選評や受賞者コメント等が公式サイトに追加されました。

通過率とあわせて再度リンクを載せておきます。

【発表ページ】

http://bslogbunko.com/bslog_award/index.html

- ・ 応募総数 522 本
- ・ 1次通過 64 本 (約 12%)
- ・ 2次通過 17 本 (約 3%)
- ・ 最終候補 6 本 (約 1%)
- ・ 受賞 3 本 (約 0.5%)

<総評から読み取れる内容>

- ・ カクヨム応募の影響で王道の少女小説とは異なる作品が増えた
- ・ 特別賞はレーベルの企画からやや外れているが物語性を評価し受賞
- ・ 次回の応募受付もすでに始まっている、王道な作品も特徴的な作品も大歓迎

こう書かれたら特別賞の内容が気になりますが、あらすじを見た感じ、メディアワークス文庫やオレンジ文庫に近い印象。

確かにこれは少女小説ではなさそうです。

どちらかと言うとライト文芸寄りな感じでしょうか。

しかしこの作品も受賞したわけですし、総評に「王道以外の作品も歓迎」と書いてあるので、今後はさらにレーベルの幅を広げていくのかもしれませんがね。

以上、ビーズログ総評公開の話題でした。

泣ける小話ツイートキャンペーン- 2018.10.16 Tue

こんにちは、らくだです。

7月始めに予告が出ていた「[カクヨム×魔法のiらんどコンテスト](#)」の応募受付が始まりました。

それを記念してツイートキャンペーンが開催中。
選出されるとスターバックスカードなどが貰えるようです。

【「泣ける小話」ツイートキャンペーン】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2018101501>

- ・ 募集内容 泣ける小話
- ・ 規定字数 132 文字以内
- ・ 開催期間 10 月 15 日（月）～10 月 29 日（月）
- ・ 受賞賞品 選べるビーズログ文庫書籍&スターバックスカード 2 千円分（3 名）

132 文字で泣ける話を書くのは結構難しいですが、カギカッコを使った会話文でも OK だそうです。

泣ける会話……。
こんな感じですかね……。

「ガチャに 10 万ぶっ込んだ」
「結果どうだった？」
「爆死（）」

こういう感じで応募したらいいんですよね？（たぶん違う）

これなら 3 行で確実に泣けますが、それはさておき 1 ツイートで気軽に参加できる企画なので、皆様チェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

小説投稿と一切関係ない話題ですが、自分は足の親指が巻き爪(?)っぽくて、皮膚に食い込んで痛いんですよね。

それでまあ、痛いだけならいつものことなんですが、出血して腫れてしまったので仕方なく病院に行っただけです。

以下お医者さんとの会話。

「あー、かなり食い込んでますね」

「ですよ、痛いです」

「麻酔して切りましょうか」

「え、いや、それはちょっと……」

「麻酔イヤ? じゃあこのまま切りますね(ニコッ)」

いや違うんですけど!?

麻酔じゃなくて切るのがイヤなんですけど!?

と説明してる暇もなく、お医者さん処置を開始。

スムーズすぎるだろ!

ホームページにスムーズな対応がウリって書いてあったけど本当だな!

というわけで麻酔もなしに爪と皮を切られました。

自分はドMですが状況を楽しむ余裕もなくとても痛かったです。

でもまあこれで原因が除去されたわけですし、今度爪が伸びてきたら、放置せずにしっかり手入れしようと思いました。

こんにちは、らくだです。

近ごろ急に寒くなってきましたね。
街でもブーツ姿の女性を見かけるようになりました。

なお自分は巻き爪の影響でサンダル着用です。
足元寒い上に季節遅れな感じが半端ないです。

ちなみに巻き爪の原因ですが、お医者さんには、爪の切り過ぎと言われました。

ポイントは、

- ・ 深爪ダメゼッタイ
- ・ カーブをつけずまっすぐ切る
- ・ 白い部分は余裕をもって残しておく



ちなみに自分、白い部分があったら食い込む気がして、端の方まで切りまくってたんですが、今までの努力は完全に逆効果だったんですね（汗）

なるほどな……。

道理で年々悪化するわけだ……。

あとそれから、ウェブ拍手コメントで、ドイツ式の「B/S ブレース」という治療法を教えてくださいました。

色々調べてみたところ、これなら痛くなさそうなので、もし再発してしまったら参考にしようと思います。

以上、巻き爪の話その2でした。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞ファミ通文庫部門ですが、システムの不具合で遅くなっていた評価シートが、本日マイページにアップされた模様。

対象者は第 20 回で 1 次通過した方です。

詳細は公式サイトのお知らせをご覧ください。

【えんため大賞】

<http://www.entame-awards.jp/>

えんため 1 次通過の評価シートは、従来ですと 9 月なので、1 か月ほど遅くなった感じですね。

それで思い出したんですが、今回 1 次発表の時に不具合があって、過去の応募者（今回は投稿してない）に「1 次結果が出ました」というメールが誤送信される事件がありました。

その件も何か関係ありそうな気がしますが、応募者が安心して作品を投稿できるよう、次回以降はトラブルをなくして欲しいです。

なお評価シートが遅れた件ですが、問い合わせ先として下記 URL が載っているので、該当者で問題のある方は参照すると良いかと思います。

【カスタマーサポート】

https://www.enterbrain.co.jp/information/contact_customer.html

(※「えんため大賞ライトノベルファミ通文庫部門について」と明記)

以上、えんための評価シートに関する話題でした。

第1回小説創作オンライン講座- 2018.10.20 Sat

こんにちは、らくだです。

カクヨムブログで「第1回小説創作オンライン講座」が公開されました。

これは「カクヨムコンに応募した小説をプロが精読してくれる」という企画で、作品の募集はすでに終わっていますが、選ばれた当人以外も本文と講評を読んで自身の創作の参考にすることができます。

以下リンク。

第1回の今回は4作品が紹介されています。

【第1回小説創作オンライン講座】

https://kakuyomu.jp/info/entry/wc4_rev_vol1

評価項目は、

- ・作品のオリジナリティ
- ・キャラクター
- ・ストーリー
- ・世界観
- ・文章力

以上が数字で5段階評価。

さらに良かった点と改善点がコメント形式で載っています。

自分も読んできましたが、これはうん、完全に評価シートですね。

さらに言うところの選評は丁寧でクオリティが高いと思います。

賞にもよりますがもっと適当な評価シートも山ほどありますからね。

以上、第1回小説創作オンライン講座の話題でした。

こんにちは、らくだです。

第 32 回前期ファンタジア大賞の 1 次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://www.fantasiataisho.com/contest/fantasia32th.php>

- ・ 応募総数 690 本
- ・ 1 次通過 154 本
- ・ 通過率 約 22 %

ファンタジアに限った話ではないですが、同時期にあちこちの賞で通過している投稿者さんを見ると、一体どういうスケジュールで執筆しているのか気になりますよね。

特によく見る方は自然と名前を覚えますし、直接的な交流はなくとも、頑張っている姿に励まされる気持ちです。

ちなみにそういう自分は……。

去年ビズログで 1 次通過したのが最後……。

しかも新作投稿ではなく既存作品のダメ元投稿……。

というわけで投稿成績は全然ですが、ブログは（これでも一応）頑張っていますし、間接的にでも誰かの力になれていたら嬉しいです。

なお 2 次発表は 11 月下旬だとか。

公式サイトが更新されたらまた紹介したいと思います。

第6回オーバーラップ1次発表- 2018.10.22 Mon

こんにちは、らくだです。

第6回オーバーラップ大賞（第1ターン）の1次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2018/announcement.aspx#turn1>

- ・ 応募総数 304 本
- ・ 1次通過 38 本
- ・ 通過率 12.5 %

現在はライトノベルでも色々な賞がありますが、自分が感じたオーバーラップのいいところは、落選と同時に評価シートが読める点かなと思います。

従来 of 公募ですと、

- ・ 落選確定
- ・ 理由を想像しモヤモヤ
- ・ 忘れた頃にようやく評価シート到着
- ・ 落選のショックを思い出しセルフダメージ

なのですが、落選と同時に理由がわかると切り替えがしやすいですし、もらったアドバイスもすぐに次作へ繋げやすいですね。

まあこれは1次落ち前提の発想であって、いつも最終まで行くような投稿者さんには、まったく関係ないメリットではありますが……（遠い目）

以上、オーバーラップ1次発表の話題でした。

第 2 回小説創作オンライン講座- 2018.10.23 Tue

こんにちは、らくだです。

カクヨムブログで「第 2 回小説創作オンライン講座」が公開されました。

以下リンク。

第 1 回に引き続き今回も 4 作品が紹介されています。

【第 2 回小説創作オンライン講座】

https://kakuyomu.jp/info/entry/wc4_rev_vol2

自分もさっそく読んできました。

今回気になったのは 1 作品目『サチスイ』に対する良かった点のコメント。

「キャラの人となりは、著者さんの頭の中で完成されているだけに作品中で捨て置かれてしまいがちです。それを書き出せているのは本当にすばらしい」

これ……。

一見簡単そうだけど実際は難しいんですよね……。

小説を書こうとする時、自分の脳内では人物像が定まっていて、そのキャラに愛着や思い入れがあるわけですが、読者にとってはまったく初対面の知らない相手なわけですからね。

その魅力を自分の脳内だけでなく、作中でしっかり表現するのは大切だと思いますし、改めて気を付けようと思いました。

なおこのオンライン講座、全 5 回と書いてありますが、毎日 4 作品ずつ公開されていく模様。

自分は応募していませんが、面白いし勉強になるので、今後も欠かさずチェックしたいです。

こんにちは、らくだです。

[ツイッターで流れてきた話題](#)が面白かったので今回はその件を。

【オタクの疲労 Lv. 目安】

- Lv1. イベントに行かなくなる
- Lv2. ゲームを積む
- Lv3. ラノベを積む
- Lv4. コミックを積む
- Lv5. 新作アニメが追えない
- Lv6. 毎週のアニメが追えない
- Lv7. ソシャゲのイベントが追えない
- Lv8. タイムラインが追えない
- Lv9. オタク語り=昔の思い出
- Lv10. もう、オタクじゃなくなってた

自分は半分くらい該当しますね……。

今でもガチオタですが疲れてるんですかね……。

でもこれ、時間がないというよりは、気持ちの問題が大きいような気がします。

例えば高校時代なんかを思い出すと、月曜から土曜まで学校と塾と受験勉強で、自由な時間はそれほどなかったはずなのに、オタク趣味が面倒だと思ったことは一度もない（むしろ生き甲斐）だったわけです。

まあ 10 代と今では価値観が変わるのも当然ですし、無理せずに楽しめる範囲で、これからもオタク趣味は続けていきたいと思います。

ちなみに昔は土曜日も学校があったんですよ！

自分の世代では常識だけど若い子は驚くかもしれませんね！

以上、オタクの疲労度に関する話題でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで開催された「サイバーセキュリティ小説コンテスト」の中間発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/cyber_security/nominated

- ・ 応募総数 284 本
- ・ 中間通過 27 本
- ・ 通過率 9.5 %

さすがにサイバーセキュリティが題材だけあって、通過リストに並んだタイトルを見ても、普通のコンテストとは一味違った空気を感じます。

あとはやっぱり、多様性ですね。

サイバーセキュリティという基本の土台は一緒でも、そこに異世界を絡めていたり、はたまた恋愛が主軸だったり、作者によって方向性が違うのは面白いと感じました。

なお最終発表は 12 月予定なので、公式サイトが更新されたら、また改めて紹介したいと思います。

以上、サイバーセキュリティ小説コンテスト中間発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトの投稿企画「編集（て）の権力者の犬小説賞」の結果発表がありました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/dog_of_authorities_novel_result/

今回選出されたのは大賞 1 本と佳作 2 本。
3 本とも面白かったので少しだけ感想を。

・大賞「お父さんは権力者の犬」

少年の無邪気さが逆に哀愁を誘います。

・佳作「あなたの手のひらの上」

この世界観では私も無能なボスですね……。

・佳作「跪いてワンとお鳴き」

本格ファンタジーかと思ったらギャグ。だがそこがいい。

コバルトの企画は毎回そうなのですが、お題に一定のひねりがあるので、受賞作品のチェックが面白いですよね。

特にショートショートは発想力の勝負ですし、読むと創作の勉強にもなるので、これからも応援していきたいと思いました。

こんにちは、らくだです。

投稿と関係ない個人的な問題ですが、プライベートが非常に困った事態になっており、日々の精神疲労が半端ない最近です。

2018年マジでおかしい……。

これもう厄年とかいうレベルじゃないぞ……。

とまあそれはさておき。

カクヨム小説創作オンライン講座の後半が公開されました。

第3回から第5回までのリンクを下にまとめて貼っておきます。

【第3回小説創作オンライン講座】

https://kakuyomu.jp/info/entry/wc4_rev_vol3

【第4回小説創作オンライン講座】

https://kakuyomu.jp/info/entry/wc4_rev_vol4

【第5回小説創作オンライン講座】

https://kakuyomu.jp/info/entry/wc4_rev_vol5

第1回から全部読みましたが、今回の創作オンライン講座は、良かった点と改善点が両方載っていていいなと感じました。

これはかなり重要というか、悪い点ばかり書かれるとヘコみますし、逆に良い点ばかりだと「じゃあなんで落選なのよ」ってなりますからね。

コメントも丁寧に精読したことがわかりますし、自分の傾向と照らし合わせて、これからの創作の参考にしようと思いました。

第7回ネット小説大賞 - 2018.10.28 Sun

こんにちは、らくだです。

第7回ネット小説大賞（なろうコン）の開催が決定しました。
詳しい応募要項などは下記公式ホームページをご覧ください。

【第7回ネット小説大賞】

http://www.cg-con.com/novel/7_novelcon/youkou.html

- ・ジャンル 不問
- ・受付期間 2018年10月26日（金）～2019年2月4日（月）
- ・規定字数 なし（過去8,000字～300万字まで受賞実績あり）
- ・応募方法 なろうに小説を載せ「ネット小説大賞七」のキーワードを設定

なろうコンもついに7回目ですが、今回は新部門として、ゲーム部門賞が設立されました。

受賞すると艦これや刀剣乱舞を配信するDMM GAMESでゲーム化される可能性があります。

【ゲーム部門賞・応募要項】

http://www.cg-con.com/novel/7_novelcon/youkou_game.html

【ゲーム部門賞・特徴の説明】

http://www.cg-con.com/novel/7_novelcon/point_game.html

基本的な応募方法は一緒ですが、設定の添付やキーワードの追加などが必要なので、ゲーム部門賞を目指す方は上のページを熟読されると良いかと思います。

以上、第7回ネット小説大賞の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうで開催された「第2回フェアリーキス大賞」の2次通過発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.j-publishing.co.jp/fairykissaward2_result/

ページの中ほどに記載がありますが、今回2次通過した11作品について、読者投票が開催されている模様です。

投票結果は非公開ですが、最終選考の参考にするようなので、好きな作品がある方は投票して応援すると良さそうですね。

- ・投票締切 11月11日（日）
- ・投票回数 1人1回（重複投票は除外）
- ・投票結果 非公開（最終選考の参考にする）
- ・コメント 自由記入（なしでも投票はできる模様）

なお余計なお世話だと思いますが、ペンネームに「@活動休止」という方がいらっしゃって、それが地味に気になっています。

せっかく2次通過して読者投票まで進んで、出版の可能性があるので、活動やめちゃったらもったいないですよ。

まあネット小説ではよくあることですし、自分が気にしても仕方がないので、結果発表を静かに見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

だいぶ前に面接を受けて採用された（「触手が動く」のやつ）伝票入力バイトが始まりました。

ふはははは！

とくと見るがいい！

これが10年ワナビのタイピングぞ！

という心境でいたのですが、実際の作業は数字のテンキー入力なので、文字入力の速度はあまり（というか全然）関係ない仕事でした……。

さて本題。

第24回スニーカー大賞の最終発表がありました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://sneakerbunko.jp/award/vol24-kekka.html>

受賞作は金賞2本、編集部大賞1本、そして特別賞2本。

大賞こそ出ませんでした但最终候補の5本すべてが受賞した形です。

今回から締切が4月1日へ変更になり、募集回数も年1回に減ったのですが、総評を見た感じ豊作だったようで何よりですね。

なお第25回の受付もすでに始まっています。

気が早いですがカクヨム応募も可能ですし次回にも期待したいと思います。

こんにちは、らくだです。

第 15 回 MF 文庫 J 新人賞（第 1 期）の結果発表がありました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://mfbunkoj.jp/rookie/award/result/#first>

- ・ 応募総数 455 本
- ・ 1 次通過 136 本（約 30 %）
- ・ 2 次通過 24 本（約 5 %）
- ・ 3 次通過 4 本（約 0.9 %）
- ・ 佳作 1 本（約 0.2 %）

今回選出されたのは佳作 1 本でしたが、クロスレビューが公開されています。

タイトルは『異能モノ』でシンプルですが、それを逆に利用して（？）仕掛けを作った作品らしく、どの編集さんもそこを高く評価している様子。

MFJ のクロスレビューは、人によって評価がわかる場合も多いですが、ここまで全員の意見が一致しているケースは珍しいかなと思いました。

【クロスレビュー】

https://mfbunkoj.jp/rookie/award/result/images/MFJ_crossreview_15-1.jpg

ここまで高評価な仕掛けとは何なのか。

投稿者としても気になりますし受賞作の刊行を楽しみに待ちたいです。